

## 外郭団体「公益財団法人 横浜市緑の協会」の 協約マネジメントサイクルに基づく評価結果について

本市では、各外郭団体が一定期間における主要な経営目標を本市との「協約」として掲げ、経営の向上を促進する「協約マネジメントサイクル」の取組を進めています。

27 年度から各団体において取組を進めている現在の「協約」については、横浜市外郭団体等経営向上委員会（以下「委員会」という。）を活用し、協約の進捗状況及び経営を取り巻く環境の変化への対応に関する評価を毎年度実施し、団体経営の健全化を図っていくこととしています。

このたび、委員会による評価が実施されましたので、評価結果等について報告します。

### 1 取組結果

#### (1) 協約の期間

平成 27～29 年度

#### (2) 協約の取組状況（平成 27 年度実績）

##### ア 公益的使命の達成に向けた取組（1）

取組	27 年度実績	29 年度目標	進捗状況
よこはま緑の推進団体登録数の増加	1,061 団体	登録数 1,060 団体	目標達成
よこはま花と緑の推進リーダー認定者数の増加	142 人	認定者数 180 人	順調

##### イ 公益的使命の達成に向けた取組（2）

取組	27 年度実績	29 年度目標	進捗状況
施設利用者へのサービス向上のための設備改善	10 施設	12 施設実施	順調

##### ウ 財務の改善に向けた取組

取組	27 年度実績	29 年度目標	進捗状況
公益事業への還元のための収入の増加	1,758,820 千円	1,700,000 千円到達	目標達成

##### エ 業務・組織の改革

取組	27 年度実績	29 年度目標	進捗状況
幹部候補職員の育成	研修年 4 回 実施	研修年 2 回 実施	順調
市派遣職員の減	4 人減	3 人減	目標達成

#### (3) 環境・状況の変化と今後の課題等

平成 27 年 4 月のよこはま動物園ズーラシアのサバンナエリアの全面開園の効果が薄れてきており収入減が見込まれること、公園・動物園の運営における専門的な知識を持った人材の継続的な確保等

## 2 経営向上委員会の評価結果及び助言

評価結果※	委員会助言
引き続き取組を推進	協約の取組目標については順調に取り組まれている。 引き続き、動物園を始め多くの公共施設の管理運営を担っていくことを踏まえ、中長期的視点に立ち、専門職員の確保・育成を行うとともに、利用者数の増加に努めるなど経営基盤を強化していく取組が必要である。

※「評価結果」の分類

委員会による評価は、以下の4つの評価分類から、団体ごとに決定しています。

- ①引き続き取組を推進      ②取組の強化や課題への対応が必要  
③協約の見直しが必要      ④団体経営の方向性の見直しが必要

## 3 局・団体の課題への対応

委員会助言も踏まえ、自主事業、広報宣伝事業を充実するとともに利用者満足の向上に努め、施設来園者の増を図ります。また、各種研修などを通じた人材育成に取り組み、協会の事業運営を担う職員の育成、組織力の強化を図っていきます。

## 4 添付資料

「平成28年度 総合評価シート」(答申抜粋 公益財団法人 横浜市緑の協会部分)

## 【参考】横浜市外郭団体等経営向上委員会について

設置根拠	横浜市外郭団体等経営向上委員会条例（平成26年9月25日施行）
設置目的	外郭団体等のより適正な経営の確保を図るとともに、外郭団体等に関して適切な関与を行うため
委員 (任期2年)	大野 功一（関東学院大学 経済学部教授）【委員長】 遠藤 淳子（遠藤淳子公認会計士事務所 公認会計士） 大江 栄（エフ・ブルーム（株）代表取締役 中小企業診断士） 鴨志田 晃（横浜市立大学 学術院国際総合科学群経営学コース教授） 田辺 恵一郎（プラットフォームサービス（株）代表取締役会長） ちよだプラットフォームケア（官民連携による中小企業者のビジネスコミュニティ施設）運営会社を経営
設置	平成26年10月21日
所掌事務	1 外郭団体等のより適正な経営を確保するための仕組み及び外郭団体等に対する市の関与の在り方に関すること 2 外郭団体等の経営に関する方針等及びその実施状況の評価に関すること 3 外郭団体等の設立、解散、合併等に関すること 4 その他外郭団体等に関し市長が必要と認める事項

# 平成28年度 総合評価シート

団体名	公益財団法人 横浜市緑の協会	所管課	環境創造局 総務課
協約期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3か年の2年目）		

分団 類体	引き続き経営の向上に取り組む団体
----------	------------------

① 協約 の 取 組 状 況	公益的使命の達成に向けた取組(1)		25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①よこはま緑の推進団体登録数の増加 (目標数値:29年度累計 1,060団体)	実績 (単位)	1,053団体 (累計)	1,061団体(累 計)	1,061団体(累 計)	1,060団体(累 計)	1,060団体(累 計)	1,060団体(累 計)
		進捗 状況	-	-	29年度目標 達成	-	-	
	②よこはま花と緑の推進リーダー認定者 数の増加 (目標数値:29年度累計 180人)	実績 (単位)	106人(累 計)	129人(累計)	142人(累計)	160人(累計)	180人(累計)	180人(累計)
		進捗 状況	-	-	順調	-	-	
	公益的使命の達成に向けた取組(2)			25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
	施設利用者へのサービス向上のための設 備改善 (目標数値:3か年で12施設161箇所) ※現在、当初目標を上回るペースで進捗 している。	実績 (単位)	12施設 (32箇所)	11施設 (94箇所)	10施設(95箇 所)/年間	6施設(64箇所) /年間	-	
					10施設(95箇 所)/3か年	13施設(159箇 所)/3か年	12施設(161箇所) /3か年 ※当初目標	
	進捗 状況	-	-	順調	-	-		
	財務の改善に向けた取組			25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
	公益事業への還元のための収入の増加 (目標数値:29年度までに1,700,000千 円)	実績 (単位)	1,666,000 千円	1,594,005千円	1,758,820千円	1,688,000千円	1,700,000千円	
		進捗 状況	-	-	29年度目標達成 (一時的)	-	-	
	業務・組織の改革			25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①幹部候補職員の育成 (目標数値:研修年2回)	実績 (単位)	研修年2 回実施	研修年2回実施	研修年4回実施	研修年2回	研修年2回	
		進捗 状況	-	-	年目標達成	-	-	
②市派遣職員の減 (目標数値:3か年で3人) ※現在、当初目標を上回るペースで進捗 している。	実績 (単位)	なし	2人	4人/年間	1人/年間	-		
				4人/3か年	5人/3か年	3か年で3人 ※当初目標		
進捗 状況	-	-	3か年目標達成	-	-			

団体名	公益財団法人 横浜市緑の協会	所管課	環境創造局 総務課
協約期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日（3か年の2年目）		

② 環境・状況の変化	27年4月のよこはま動物園のサバンナエリア全面開園の効果が薄れてきており、収入減が見込まれる。根岸森林公園の駐車場管理がなくなることによる収入減が見込まれる。
③ 経営状況	公園・動物園の運営における専門的な知識を持った人材は、充実しているが、年齢層が30歳～40歳代に偏っている。
④ 今後の課題	上記②に記載の通り。 また、上記③により、継続的な人材の確保と、今後の人件費の増が課題となることが考えられる。
⑤ 課題への対応	協会の事業運営を経済状況、動向に合わせて行っていく中で、自主事業、広報宣伝事業を充実するとともに利用者満足の上昇に努め、施設来園者の増を図ります。また、各種研修などを通じた人材育成に取り組み、協会の事業運営を担う職員の育成、組織力の強化を図っていかうと考えています。
⑥ 協約の見直し	協約の見直しの必要性： 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
	【見直しが必要な理由及び協約の変更内容】

経営向上委員会 助言			
引き続き取組を推進	取組の強化や課題への対応が必要	協約の見直しが必要	団体経営の方向性 の見直しが必要
<p>協約の取組目標については順調に取り組まれている。また、他に団体の経営状況に新たな課題は認められない。</p> <p>引き続き、動物園を始め多くの公共施設の管理運営を担っていくことを踏まえ、中長期的視点に立ち、専門職員の確保・育成を行うとともに、利用者数の増加に努めるなど経営基盤を強化していく取組が必要である。</p>			